

「経営の健全化のための計画」

(金融機能の早期健全化のための緊急措置に関する法律第5条)

の履行状況に関する報告書

(貸出金の推移)

平成12年6月

株式会社 三和銀行

貸出金の推移（実勢ベース（インパクトローンを除く））

12/3月末の実績等の状況

国内向け貸出については、11/3月末比 290億円の減少となりましたが、中小企業向け貸出につきましては+4,168億円の増加となりました。これにより当初の計画を+474億円超過達成いたしました。

計画達成の要因につきましては、年度を通じ資金需要が全体として回復しない状況下で、大・中堅企業向け残高が落込んだものの、中小企業向け残高は貸出商品の見直しや積極的な営業体制強化に努めてきた成果が着実に結果として表れたものと認識しております。

下半期の増加状況及びその要因

11/9月末比では国内向け貸出が+2,505億円、うち中小企業向けが+2,965億円とそれぞれ増加いたしました。

中小企業向け貸出につきましては、健全な中小企業への積極的な信用供与に取り組んだ結果、上期における増加実績（+1,203億円）を上回ったものであります。

11/4月より販売を開始した「中小企業固定金利ファンド」は11/8月の商品内容の見直しにより、11年度下期（11/10月以降）に入っても順調な取り組み実績を残しました（下期取組み累計額〔件数〕は1,161億円〔1,499件〕）。更に、11/12月には他行にない独自性ある商品として「保証協会保証付き固定金利貸出」を販売、下期取組み累計額（件数）は124億円（410件）でありました。この商品は中小企業マーケットへの品揃え強化策として、保証協会保証付貸出で従来固定金利タイプでなかったものについても固定金利型を開発し、低金利タイプの貸出商品を拡充したものであります。いずれの商品も長期で低金利の借入れが可能であり、特に12/2月に長期金利が一時上昇し、その後の残高積み上げに寄与しました。

施策面では、主力取引先を対象に、予め本部と営業店が取引方針を定め、取引先の資金需要にスピードを上げて対応できる体制を強化することで、優良小口取引先に対する当行貸出シェアアップを図りメイン取引拡大を推進いたしました。中小企業マーケットでのメイン化推進は、全行与信ポートフォリオ運営の観点から小口分散効果が期待され、積極的な対応を実施したものであります。

また、貸出運営に統計的なリスク分析手法を取り入れた「RACAR（レイカー）」によるリスク・リターン管理を従来より全店で実施、貸出先の信用度に応じ適正なスプレッド水準を確保した信用供与に努めてまいりました。

これらの商品、施策を中心に、従来より強化してまいりました営業体制、本部・営業店一体となった個社別・案件別のきめ細かいフォロー体制により中小企業向け貸出積極推進の方針が徹底されたものと認識しております。

更に13/3月期は引き続きこれまでの施策を継続するとともに、例えば法人スモールへの取り組みスキームやモデルの研究開発によるビジネスローンの発売を既に開始する等、商品の拡充も含めたミドル・スモールマーケットでの競争力強化に努めてまいり所存であります。

貸出金の推移

(残高)

(億円)

		11/3月末	11/9月末	12/3月末	12/3月末	備考
		実績 (A)	実績 (B)	計画 (C)	実績 (D)	
国内貸出	ｲﾝﾊﾟｸﾄﾛｰﾝを含むﾊﾞｰｽ	287,878	277,664	284,739	276,696	99.9%
	ｲﾝﾊﾟｸﾄﾛｰﾝを除くﾊﾞｰｽ	247,475	239,256	239,851	241,081	100.6%
中小企業向け (注1)	ｲﾝﾊﾟｸﾄﾛｰﾝを含むﾊﾞｰｽ	123,716	119,602	127,619	118,196	100.4%
	ｲﾝﾊﾟｸﾄﾛｰﾝを除くﾊﾞｰｽ	102,042	98,713	103,136	100,165	102.2%
	うち保証協会保証付貸出	14,258	13,832	14,279	13,392	100.4%
	個人向け	67,977	65,800	65,101	65,842	100.7%
	うち住宅ローン	29,098	28,353	28,366	29,605	102.5%
	その他	95,093	91,228	92,019	88,837	94.6%
	海外貸出	30,807	24,610	38,087	24,114	99.3%
	合計	318,685	302,274	322,826	300,810	99.8%

(同・実勢ベース)

(億円)

		11/3月末	11/9月末	12/3月末	12/3月末	備考
		実績 (A)+(E)	実績 (B)+(E)+(F)	計画 (注3)	実績 (D)+(E)+(H)	
国内貸出	ｲﾝﾊﾟｸﾄﾛｰﾝを含むﾊﾞｰｽ	292,187	287,397	293,496	287,217	
	ｲﾝﾊﾟｸﾄﾛｰﾝを除くﾊﾞｰｽ	251,312	248,517	247,228	251,022	
中小企業向け (注1)	ｲﾝﾊﾟｸﾄﾛｰﾝを含むﾊﾞｰｽ	127,031	127,449	134,445	127,556	
	ｲﾝﾊﾟｸﾄﾛｰﾝを除くﾊﾞｰｽ	104,980	106,183	108,674	109,148	

(注1) 中小企業とは、資本金1億円(但し、卸売業は300万円、小売業、飲食業、サービス業は100万円)以下の会社または常用する従業員が300人(但し、卸売業は100人、小売業、飲食業、サービス業は50人)以下の会社を指す。

(注2) 未平比率は月末残高/月中平均残高。

(注3) 承認された健全化計画より引用。

(注4) 従来報告していた中小企業向け貸出の11/3月末及び11/9月末実績より、以下の計数を控除。

・政府出資主要法人、各省庁所管特殊法人等公共関連向け貸出残高
(含むｲﾝﾊﾟｸﾄﾛｰﾝ 11/3月末-1,092億円、11/9月末-1,034億円 除くｲﾝﾊﾟｸﾄﾛｰﾝ 11/3月末-1,079億円、11/9月末-1,034億円)

(不良債権処理等に係る残高増減)

(億円 []内はうち中小企業向け)

	10年度中 実績 (E)	11年度 上期実績 (F)	11年度中 計画 (G)	11年度中 実績 (H)	備考
貸出金償却	243[138]	188[103]	100[85]	1,655[1,187]	
CCPC向け債権売却額	195[130]	210[204]	50[43]	324[318]	
債権流動化(注1)	2,552[1,728]	-106[354]	100[85]	-2,208[-195]	
会計上の変更(注2)	-[-]	4,929[3,678]	600[510]	6,033[4,337]	
協定銀行等への資産売却額(注3)	-[-]	26[26]	-[-]	26[26]	
その他不良債権処理関連	1,319[1,319]	177[167]	-[-]	382[372]	
計	4,309[3,315]	5,424[4,532]	850[723]	6,212[6,045]	

(注1) 一般債権流動化のほか、債権の証券化を含む。

(注2) 会計方法の変更により資産から控除される間接償却部分等。

(注3) 金融機能の再生のための緊急措置に関する法律第53条で定められた協定銀行等への債権売却額。